



編集・発行
日蓮宗 能勢妙見山
広 報 部
〒563-0132
大阪府豊能郡能勢町野間中
電 話 072-739-0329
FAX 072-739-2883

天候不順で衣替えもできずまだ冬物が出ています
妙見山中の植物たちは勢いを増し緑が眼に眩しい日々となりました
草木に負けることなくせめて心の中だけでもしっかり衣替えして
今年の前半にたまった塵やゴミを払って
スッキリすがすがしい気持ちで後半に備えたいものです

〔6月の主な行事〕

★写経会

★清掃の日

妙見様のご神域の清掃に参加し、ご自身の心身をリフレッシュしてみたいかがでしょうか

★月例祈願法要

★鷗様月例祭

火伏せ守りの黒札を授与します

〔7月の行事予定〕

★写経会

★清掃の日

★月例祈願法要

★鷗様月例祭

☆虫払い会祈禱

宝刀「浪切丸」を頭頂に戴いて
煩惱の虫を払います

◎ご祈禱・御回向等のお申込はFAX・メールでも受け付けています

◎写経はご自宅でもできます お問い合わせ下さい

◎送迎バス 奉賛会会員並びにご信者様の便宜を図り、能勢電鉄妙見口駅から山上までの送迎車を用意
利用ご希望の方は、必ず2日前までに電話で連絡をお願いします 但しご希望に添えないこともあります

『親ガチャ』

渋谷 拓矢

近年よく親ガチャという言葉を目にする。「親ガチャ」とは、子どもにとって親を選べないこと、つまり親がどのような家庭環境や性格を持つかは運任せであることをガチャガチャ（カプセル玩具）に例えて表現した言葉だそう。確かに子は親を選ぶ事は出来ないから貧富の差などがある。

だがテレビやSNSを見ると、一般的にごく普通の家庭だと思われる人でも親ガチャ失敗などと発言している人もいる。

なぜだろうと考えてみると、現代社会は周りの目を気にし、他人の評価を気にしすぎる傾向がある。自己肯定感の低さやSNSが普及した現代、容易に他の情報を知る事ができることから、自分と他人をすぐ比較してしまうようだ。それが

要因で常に人より上を、高みを目指してしまっているのかもしれない。

日蓮聖人が著された『開目抄』には、「いかにいわんや仏法を学せん人、知恩報恩なかるべしや。仏弟子は必ず四恩をしって知恩報恩（を）ほうずべし」と説示されている。

四恩とは、①生んでくれた父母への恩、②すべての生きとし生けるものが互いに支え助け合い生きていく

という一切衆生の恩、③社会の秩序やインフラなど国家の保護のもとで安全に生活できる国の恩、④仏様とその教え、そして教えを伝える僧への三宝の恩。この四つの恩を知って恩に報いなければならぬと日蓮聖人は仰られている。

また逆に、育児放棄や虐待などの問題がよく報じられるが、当然親も子や孫に対して恩を感じてもらえるような行動をしなければなら

らない。

今当たり前に生活できるのは、無意識のうちに四恩で述べた恩恵を受け衣食住ができていくからだ。当たり前だと思っている事ほど身近過ぎて中々その恩に気が付きづらいが、その当たり前が一番の幸せだと思う。その有り難みに気づき些細な事に対しても感謝の気持ちをもてるようになれば人生はもっとより良くなると思う。

開基能勢頼次公

当山が日蓮宗寺院として開かれたのは、領主能勢頼次公によります。戦国時代の終わり、慶長5年のことでした。法華經の教えにより、争いのない仏国土を築くことを念願して国造りを志されました。来年は頼次公の没後400年を迎えます。世界平和の実現を祈り、遺志を守り伝えていかねばなりません。

《法華經に学ぶ現代》

純智庵

一切衆生の

我が法を聞く者は

力の受くる所に

随って

諸の地に住す

『藥草喻品第五』

青葉茂れるこの季節

どんどん伸びよと

雨は降る

鬱陶しいなんて思ふまい
思い出すのは親爺の言葉

五月蠅い頭の雨雲と

あの頃思っていたけれど

今ではそれが

力となつて

心の大地に

染みわたる

知識まめ仏教

二宝（さんぼう）

「篤く三宝を敬え。

三宝とは仏法僧なり

……」とは、聖徳太

子の十七条憲法の第二

条です。仏（真理に

目覚めた人）・法（仏

の説いた教え）・僧（仏に従

修行する者たち）を三つの宝

だといいます。なぜ宝だとい

うのか。それは善い行いをし

ない者には手に入れがたく、

また清らかで優れていること

などが、宝に匹敵するからだ

というのです。

世俗の宝はお金で売買されやがて消えていきます。仏教の三宝は私たちの拠り所となり、帰依することにより自ら三宝の一員となり、自らが宝に変わっていくものです。

「ブッポソー」と鳴くから仏法僧と名付けられた鳥がいます。でも本当にそう鳴くのはコノハズクです。身延山はその生息地として保護されており、この時期、聞くことが出来るかもしれません。